

退任・就任のご挨拶

退任



井上 恵二 先生

新年度を迎えるにあたり、この三月をもって八年間務めた追手門学院小学校長を退任いたしました。

在任中は、創立130周年記念事業をはじめ、山桜会より多大なご支援を賜り、学校の発展に向けた取り組みを進めることができました。また、コロナ禍における教育活動の継続や環境整備など、予測し得ない課題にも教職員と協力しながら対応してまいりました。多くの方々のおかげにより、学校運営に必要な経験を重ねる機会を得られたことに感謝しております。四月からは初等中等教育長として学院全体の教育に携わり、これまでの経験を生かしつつ、より良い学びの環境づくりに努めてまいります。

退任



杉田 圭一 先生

私は、1984年に奉職し、42年間勤めさせていただきました。

追手門学院小学校の1番の魅力は、「規律正しさ」です。多くの卒業生から、「小学校で、礼儀が身についたので、社会に出て困らなかった」と言ってもらえるのが、何よりうれしく思いました。「礼儀」を含めた「規律」を守ることは、時代が変わろうとも、とても大切なことです。この伝統をしっかり引き継ぎ、さらに新しいことに挑戦していただきたいと思います。学院関係者や保護者の皆様のお陰で、何とかここまでこれたと、大変感謝しております。ありがとうございました。

学院のさらなる発展を祈念いたします。

就任



林 英男 先生

この度、追手門学院小学校の校長に就任いたしました林 英男でございます。本年、百三十八年とい

う本校の歴史を想うとき、その舵取りを担う重責に身が引き締まる思いです。明治の開校以来、先輩方が築き上げられた伝統は、今も子供たちの笑顔の中に息づいています。時代が移り変わろうとも、本校が大切にしてきた精神を次世代へと繋ぎ、一人ひとりが光り輝く教育に邁進する所存です。母校の更なる発展には、卒業生の皆様の温かいご理解とご支援が欠かせません。山桜会の皆様には、今後とも変わらぬお力添えを賜りますよう、心よりお願い申し上げます。伝統の継承と創造に全力を尽くしてまいります。

恩師のいま *Former Teachers*

お世話になった恩師の先生たちからのメッセージをご紹介します



元茨高教諭 黒田 稔

みなさんこんにちは。ご無沙汰しております。最初にお話を伺った時に、何がなんでもこの23期生の場合は出て行かなあかんという気持ちで、今日まで生活を送ってま

いりました。ホントに嬉しいです。僕も今年83になり、ちょうど10年前に直腸がん、肝臓がんという大病を患いまして、障害者の手帳をもらって今、生活しております。昔の仲間にも50年ぶりに会おうかという話が出ていますが、人と会えるということは、どんなに素晴らしいことかと思っております。どうか皆さんも、健康には十分気をつけて、こういう風にして、楽しいひと時を迎えられる体をキープしてもらいたいと思います。今日はこうしてお招きを頂いて、こんな話をさせてもらえるなんて思いもせずでしたけれども、本当に感謝しております。このひと時を楽しく過ごさせていただきます。ありがとうございます。



元茨高教諭 小澤 正純

今日はお誘いを頂いて、さて行けるかどうか思案して、でも何とかと思って今日は、久しぶりに大阪の駅前でウロウロしながら、タクシーに乗ってここまで到着しまし

た。ホントに大阪が変わってわからなくなりました。今日はこうして皆さん方にお会いすることを、自分では最後の自分自身に対する務めかと思って参加させていただきました。今日、古希を迎える皆さんにお会いして、皆さん方が色んな人生の荒波の中で、日々打ち勝ちながら、生活をされている姿、如実に顔に現れておられるなと感じております。

生きるということ、本当に大変なことです。日々、1日が過ごせたら、ようやくホッとできる、そしてその1日を一生懸命生きたと思えることが大切かと思っております。今日はご招待いただきありがとうございました。

※2026年3月7日(土)茨高23期同窓会での来賓挨拶から抜粋

委員長
広報委員会 村上 喜郁(小98期)

編集後記

本年度より新たに『山桜会報』誌の編集長となりました村上喜郁です。2026年度は、伝統ある山桜会が110周年を迎える記念の年です。本号でも大きく広報しております「110周年記念式典」ですが、私自身も追手門学院の同窓生の皆様にお会いできること楽しみにしております。本誌の編集につきましては、前広報委員長の竹林真先輩ならびに、前広報委員会メンバーの皆様の多大なるご協力で完成することができました。改めまして、ここにお礼申し上げたいと思います。